

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構法案について

法律の目的

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構の名称、目的、業務の範囲等について定める。

法律の概要

(1) 法人の名称

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構（以下「機構」という。）

(2) 機構の目的

沖縄振興特別措置法に規定する沖縄振興計画に基づく大学院大学の設置の準備と併せて、沖縄を拠点とする国際的に卓越した科学技術に関する研究開発等を推進することにより、沖縄における科学技術に関する研究開発の基盤の整備を図り、もって沖縄の自立的発展及び世界の科学技術の発展に寄与する。

(3) 事務所

主たる事務所を沖縄県に置く。

(4) 機構の役員及び職員

- ・役員として、理事長及び監事2人を置く（内閣総理大臣が任命）。
- ・理事長を補佐して機構の業務を掌理させるため、役員として理事1人を置くことができる（理事長が任命）。
- ・役職員の身分は非公務員とする。ただし、役職員に秘密保持義務を課し、刑法等の適用については公務に従事する者とみなす。

(5) 運営委員会

機構に、中期計画等を審議し議決するとともに、理事長の任命に関し内閣総理大臣に意見を述べ、業務の実施状況を監視する機関として運営委員会を置く。

(6) 機構の業務の範囲

- 一 国際的に卓越した科学技術に関する研究開発を行うこと。
- 二 一の業務に係る成果を普及し、及びその活用を促進すること。
- 三 科学技術に関する研究集会の開催その他の研究者の交流を促進するための業務を行うこと。
- 四 機構の施設及び設備を科学技術に関する研究開発を行う者の共用に供すること。
- 五 国際的に卓越した科学技術に関する研究者を養成し、及びその資質の向上を図ること。
- 六 大学院大学の設置の準備を行うこと。
- 七 一～六の業務に附帯する業務を行うこと。

(7) その他

機構は、大学院大学が設置されたときは、別に法律で定めるところにより、その業務を大学院大学に引き継いで解散するものとする等、必要な事項を定める。

(8) 附 則

この法律は、公布の日から施行する。

その他所要の経過措置を置く。

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構法案（仮称）について

本法案において、沖縄科学技術大学院大学（仮称）設立構想を推進する主体として**独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構（仮称）**を設立し、その名称、目的、業務の範囲等を定める。

沖縄科学技術大学院大学(仮称)設立構想
沖縄振興特別措置法及び沖縄振興計画に基づき、沖縄に世界最高水準の自然科学系の国際的な大学院大学を創設
「国際的に卓越した教育研究を行う大学院を置く大学(中略)の整備、充実等必要な措置を講ずる」(沖縄振興特別措置法第85条第2項)

機構の目的

機構の業務

- ・ 大学院大学の設置の準備
- ・ 国際的に卓越した科学技術に関する研究開発 等

沖縄の研究基盤を整備

（大学院大学開学に向けた諸条件の整備）

- ・ 沖縄の自立的発展
- ・ 世界の科学技術の発展に寄与

機構の運営体制

内閣総理大臣

内閣府独立行政法人評価委員会

任命
主務大臣としての関与
任命

評価

運営委員会

監視、建議等

理事長
理事

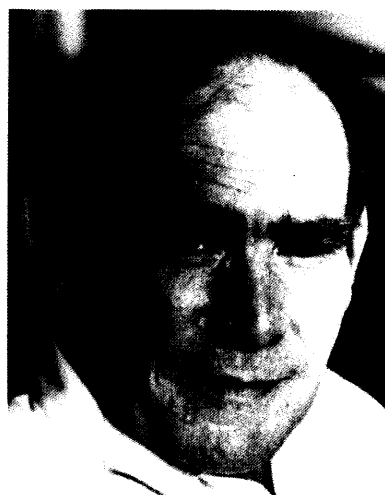
監査

監事

平成 17 年度予算案

・ 整備法人運営費等経費	9.1 億円
・ 施設整備費	10.3 億円
・ 先行的研究事業等	31.4 億円
・ その他経費	0.5 億円
合計	51.4 億円

Sydney Brenner



- ・ 1927 年 1 月 13 日南アフリカ連邦生まれ
- ・ シンガポール科学技術研究庁 (A*STAR) Board メンバー兼生物医学研究会議議長
- ・ 国籍 イギリス
- ・ 2002 年 ノーベル賞 (生理学・医学賞)
受賞理由 組織の発達と細胞死に関する遺伝子による制御に関する発見
- ・ 2004 年 1 月、沖縄科学技術大学院大学の学長就任を内諾。2 月の関係閣僚会合にて、茂木大臣からその旨を報告。
- ・ 2004 年 7 月、第 1 回ボード・オブ・ガバナーズ会合において、改めて学長予定者に選出。

【略歴】

- 1927 年 南アフリカ連邦、ジャーミストンに生まれる
- 1947 年 南アフリカ連邦、ウィトウォーターズランド大学 卒業
- 1954 年 イギリス、オックスフォード大学で博士号取得
- 1957 年 イギリス、ケンブリッジ医学研究機関 分子生物学研究所 研究員
- 1986 年 同研究機関 分子遺伝学ユニット所長
- 1996 年 Molecular Sciences Institute 初代所長

【受賞と栄誉】

- 1965 年 英国王立協会員
- 1970 年 ドイツ科学アカデミー グレゴール・メンデル・メダル
- 1971 年 ニューヨーク アルバート・ラスカー賞
- 1974 年 英国王立協会 ロイヤル・メダル
- 1977 年 米国科学アカデミー 外国人会員
- 1980 年 ヨーロッパ生化学連合 クレブス・メダル
- 1986 年 英国王立協会 クローニアン・メダル
- 2002 年 ノーベル生理学・医学賞

ボード・オブ・ガバナーズのメンバー（2005 年 1 月現在）

- 有馬 朗人
財団法人日本科学技術振興財団会長
- スティーブン・チュー
ローレンス・バークレイ国立研究所長
- ジェローム・フリードマン
マサチューセッツ工科大学教授
- 黒川 清
日本学術会議会長、東海大学総合医学研究所長
- ジャン＝マリー・レーン
ルイ・パストゥール大学教授、コレージュ・ドゥ・フランス
教授
- 利根川 進
マサチューセッツ工科大学教授、学習と記憶研究センター所長
- トーステン・ヴィーゼル
前ロックフェラー大学長、ヒューマン・フロンティア・サイ
エンス・プログラム事務局長